

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	19	豊田市立 駒場小 学校	代表	北島加奈子
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性をもち、「自ら学び続ける」児童の育成 サブテーマ 地域の教育力を生かし、体験を通して学ぶ喜びを味わう活動	分野	b	地域連携
学校づくりの視点（ねらい）	地域の方とのかかわりの中で、自分は地域から必要とされているという認識をもたせ、地域にかかわる喜びを味わわせることで、将来にわたって地域を愛し、地域に貢献しようとする意欲と態度を育むことをねらい、以下の視点で学校づくりに取り組む。 ○「学びの場」「仲間づくりの場」「心と体づくりの場」という3つの場づくりの具現化のために地域の力を生かし、教育の充実を図る。 ・「学びの場」においては、若駒学習（総合的な学習の時間）・生活科の中で地域講師の活用を図る。個の追究活動を支援するために、図書館司書と連携して図書館を情報センターとして活用するとともに、情報リテラシーを身につけ、情報活用能力を高める。 ・「仲間づくりの場」においては、地域とのかかわりの中で地域の方々の人的な力による支援を活かし、地域を知り、地域の一員としての自覚をもつことで、地域への所属感や愛着を深める。 ・「心と体づくりの場」においては、地域の方々とも積極的にふれあうことで、地域からの期待を感じ、自己有用感につなげる。 ・豊かな心を育む学習環境づくりをするため、校内整備員や地域ボランティアの力を借りながら校内の環境整備を図る。	(その他)は分野を右欄に記入		
活動内容・計画	<1年生> ・地域講師を招き、けん玉やこままわしなどの遊び方を教えてもらい、昔あそびを体験する。 <2年生> ・生活科の栽培活動で、地域講師の指導の下、夏野菜（キュウリ・ミニトマト）や冬野菜（大根）を育て、収穫を祝う活動を通して収穫の喜びと感謝の心をもつ。 ・「九九ボランティア」の方に九九の暗唱を聞いてもらい、合否の判定を受けることで意欲的に取り組み、達成感を味わう。 <3年生> ・地域講師から地域でも栽培されている大豆の栽培、収穫、調理・加工の仕方の指導を受け、活動を通して地域産業への関心をもつ。 <4年生> ・地球温暖化防止教室を行い、地域環境への関心を高める。 <5年生> ・地域講師に指導していただきながら、「田植え・稻刈り・脱穀」の体験活動を行い、稲作の苦労や地域の産業の重要性を学ぶ。 <6年生> ・地域の歴史について知ることで、地域の未来について関心をもつ。 ・地域のこども園や中学校と連携し交流を深める。 <全学年> ・外国語（英語）に親しみ、外国の文化に触れたりコミュニケーションをとったりする楽しさを味わう。（国際理解教室） ・「感謝する会」を開催し、日頃からお世話になっているボランティアや地域講師の方々に感謝の気持ちを伝える。 <学校図書館司書> ・学校図書館を情報センターとして位置づけ、図書の活用の仕方を学び、図書館ボランティアと協働して児童の学習の拠点としての整備、活用を進める。 <校内整備員> ・児童が安全に、心豊かに学校生活を送ることができるよう、校内の環境整備の維持・改善を進める。			
補助員配置	・学校図書館司書 ・校内整備員			
実績・期待される効果	・地域の中で活動することで、ふるさとのよさを知り、伝統を大切にしていこうという思いをもつことができる。 ・地域の方々と共に活動することで、様々な人とのかかわりを深め、コミュニケーション能力を高めることができる。 ・草花や農作物を育て慈しむことで、苦労を知り、自然や命を大切にする心・食に対する感謝の気持ちをもつことができる。 ・体験活動から地域を知り、地域への愛着心を育て、将来はこの地域で生活し、貢献していこうという考えをもつことができる。 ・収穫時には地域講師への感謝の気持ちを高めるとともに収穫をともに喜ぶことができる。 ・学習発表会では、若駒学習の発表での意見交流を通して多様なコミュニケーションを図ることができる。 ・総合的な学習の時間、各教科において、学校図書館や図書資料を効果的に活用し、自ら学び続ける力を育成することができる。 ・学習を通して知った地域のよさや自分が気付き・発見した事柄を積極的に発信していくことができる。			
検証方法	・各活動のねらいを明確にして実践を進め、児童の学びの変容を作文や手紙、ワークシート、質問紙の内容等から、本事業の各活動におけるねらいの達成度を分析し、検証する。 ・学校HP・学校だより・学年通信等に本事業の活動を掲載していくことで、保護者の本事業への関心と理解を高める。保護者アンケート回答の数値や自由記述から保護者と地域の関心・期待度を分析し、検証する。			